

お問い合わせ窓口のご案内

メールでのお問い合わせは、ウォークマンサポートへ
(<http://www.sony.jp/support/walkman/>)
お問い合わせの際、次のことをお知らせください。

- **型名:英数字(ウォークマン本体に記載)**

NW- [REDACTED]

- 製造(シリアル)番号:
7桁の数字(ウォークマン本体に記載)
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- 購入年月日
- お使いのパソコンの情報(パソコンメーカー名、
パソコン型名、OSバージョン)
- その他接続にお使いの機器の情報(機器メーカー
名、型名)

4-573-368-01(1)

©2015 Sony Corporation Printed in Malaysia

ホームページで調べる
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間など
<http://www.sony.jp/support/>

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

● 使い方相談窓口
フリーダイヤル ····· 0120-333-020
携帯電話・PHS ·····
一部のIP電話 ····· 050-3754-9577

● 修理相談窓口
フリーダイヤル ····· 0120-222-330
携帯電話・PHS ·····
一部のIP電話 ····· 050-3754-9599
※ 取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお
問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れてい
る間に、「301」+「#」を押してください。直接、
担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 4 5 7 3 3 6 8 0 1 * (1)

SONY®

デジタルミュージック プレーヤー

取扱説明書



NW-ZX100

インターネット上で使いかた(ヘルプガイド)など
のサポート情報が閲覧できます。閲覧は無料ですが
通信料は通信契約に依存します。
<http://sony.jp/support/r/walkman/nwzx100/>



準備/microSDカード

基本的な使いかた

音楽

録音

ノイズキャンセリング機能

Bluetooth機能

その他

困ったときは



安全のために (☞61~66ページもあわせてお読みください。)

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。「取扱説明書」と「ヘルプガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱い方を示しています。よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

「取扱説明書」と「ヘルプガイド」の注意事項をよくお読みください。

「取扱説明書」は、安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

定期的に点検する

コネクタなどにほこりがたまっているか、故障したまま使用していないか、イヤーピースがヘッドホンにしっかりと取り付いているかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

- ①パソコンと接続している場合は、USBケーブルまたはUSB端子を抜く。
- ②お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。



警告表示の意味

取扱説明書および本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど的人身事故が生じます。



警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



破裂



感電

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

マニュアルについて



紙で見る

本書(取扱説明書)

ウォークマン®を楽しむための情報を簡単に記載しています。



パソコンから転送して音楽を楽しむ

パソコンを使って音楽を取り込み／転送するまでの一連の流れを記載しています。



パソコンで見る

「重要なお知らせ」などをご覧いただけます。

インストール方法について、詳しくは別紙「パソコンから転送して音楽を楽しむ」をご覧ください。



インターネットに接続して見る



ウォークマンサポートのホームページ
使いかた(ヘルプガイド)やトラブルの解決方法、接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。



Media Goヘルプ

Media Goの使いかたについて詳しく記載しています。



Content Transferヘルプ

Content Transferの使いかたについて詳しく記載しています。

目次

はじめに	4
マニュアルについて	4
準備／microSDカード	9
同梱品を確かめる	9
充電する	10
microSDカードを入れる	12
microSDカードを取り出す	15
microSDカードを初期化(フォーマット)する	18
保存するメモリーを切り替える	19
日付と時刻を設定する	20
パソコンを使って音楽を取り込む	21
ヘッドホンを選択する	22
基本的な使いかた	23
各部の名前	23
HOLD(ホールド)を解除する	27
電源を入れる／切る	28
ホームメニューについて	29

音楽	33
音楽を再生する	33
音楽設定を変更する.....	34
ハイレゾを楽しむ.....	35
再生方法を変える(プレイモード)	36
再生範囲を変える	37
曲を削除する	38
ブックマークを使う	40
プレイリストの曲を再生する	42
録音	43
パソコンを使わずに音楽を録音する	43
ノイズキャンセリング機能	48
周囲の騒音を低減させて聞く	48
Bluetooth機能	52
Bluetoothオーディオ機器で音声を聞く.....	52
ワンタッチ(NFC)で接続する	57
Bluetooth接続の使用上のご注意.....	59

その他	61
安全のために	61
使用上のご注意	67
お手入れ	73
同梱のソフトウェアについてのご注意	74
主な仕様	75
ライセンスおよび商標について	83
困ったときは	84
困ったときは	84
ウォークマンの本体メモリーを初期化(フォーマット)するには	87
使いかた(ヘルプガイド)とサポート情報を調べる	88
保証書とアフターサービス	89
索引	90

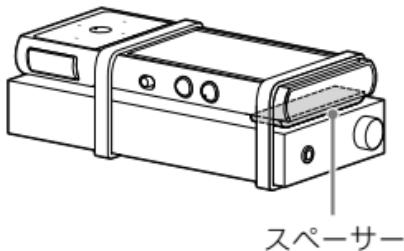
同梱品を確かめる

- ウォークマン本体(1)
- USBケーブル(1)
- WM-PORTキャップ(2)
お買い上げ時は本体に1つ装着されています。
- スペーサー(ポータブルアンプ用)(1)
- 取扱説明書(本書)(1)
- パソコンから転送して音楽を楽しむ(1)
- 保証書(1)
- 製品登録のお願い(1)

本製品には、ヘッドホンとmicroSDカードは同梱されておりません。

スペーサーの使いかた

ポータブルヘッドホンアンプ(別売)と組み合わせて使用するときに、図のようにウォークマンとポータブルヘッドホンアンプの間に同梱のスペーサーを挟んで、ウォークマンを水平にすることができます。固定の方法などについては、ポータブルヘッドホンアンプの取扱説明書などをご覧ください。



ご注意

- ウォークマンにはベルトは同梱されておりません。

充電する

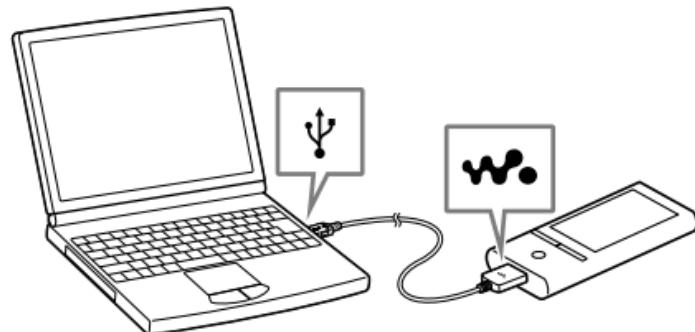
パソコンで充電する

ウォークマンは起動しているパソコンと接続することで充電されます。

ウォークマンとパソコンの接続には、同梱のUSBケーブルを使います。

本体画面右上の電池残量表示が **Full** になったら、充電完了し、ウォークマンの画面表示は消えます(満充電までに必要な時間:約5時間)。はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が **Full** になるまで充電することをおすすめします。

充電完了後は、パソコンからウォークマンを取り外してください。

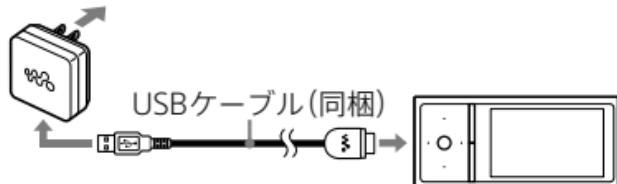


ご注意

- 電池残量が不足しているときにパソコンへ接続すると、画面表示までに約10分程度時間がかかる場合があります。

パソコンを使わずに充電する

ウォークマンはACアダプター(AC-NWUM60など)(別売)を接続することで充電できます。



充電の方法について、詳しくはACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

電池残量の表示について



ご使用中、情報表示エリアの電池残量表示でお知らせします。目盛りが少ないほど、電池残量が減っています。電池の持続時間については、[80 ページ](#)をご覧ください。

ご注意

- 電池の劣化を抑えるために、ウォークマンを長期間使わない場合でも、半年から1年ごとに充電するようしてください。

microSDカードを入れる

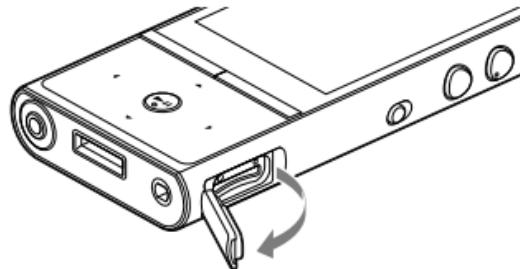
ウォークマンでは、本体メモリーのほかに、microSDカード(別売)に音楽コンテンツを保存できます。

1 ホームメニュー → (SDカード設定) → [SDカード挿入／取りはずし] を選ぶ。

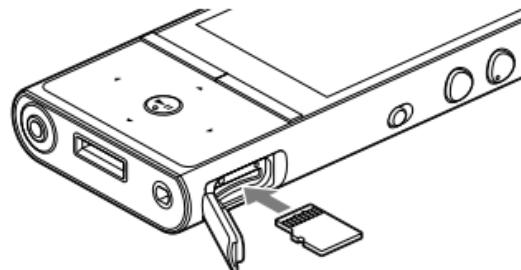
2 確認画面が表示されたら、[はい]を選択する。

画面にmicroSDカードの画像が表示され、ウォークマンは[SDカード挿入／取りはずし]モードになります。再生中の音楽が停止します。

3 microSDカードスロットの蓋を開ける。



4 [SDカード挿入／取りはずし]モードになっている間に、microSDカードを、microSDカードスロットに、端子面を上向きにしてカチッと音がするまでしっかり差し込む。



5 microSDカードスロットの蓋を閉める。

6 BACK／HOMEボタンを押して、[SDカード挿入／取りはずし]モードを終了する。

ウォークマンのデータベースが更新され、microSDカードに保存されたコンテンツにアクセスできるようになります。

ご注意

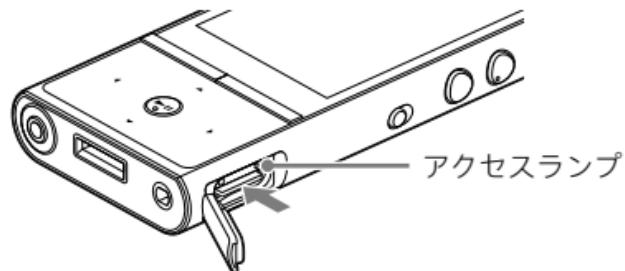
- ・本書では、microSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを総称して「microSDカード」と呼びます。
- ・microSDカードが認識されない場合は、microSDカードを取り出し、再度入れ直してください。
- ・microSDカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、microSDカード以外のものは挿入しないでください。
- ・microSDカードを挿入するとmicroSDカード内の全曲が[最近転送したアルバム]フォルダーの[最新]に入ります。
- ・microSDカードを挿入するとデータベースが更新されるため、聞いていた曲の再生位置の情報が消去されます。再度聞きたい曲を選択してください。
- ・大量のコンテンツを保存したmicroSDカードを入れた場合、ウォークマンのデータベース更新に10分以上かかる場合があります。

microSDカードを取り出す

microSDカードを取り出す場合、microSDカードにアクセス中あるいは他の処理中に取り出すことを防ぐために、以下の手順に従ってください。

- 1 ホームメニュー →  (SDカード設定) → [SDカード挿入／取りはずし] を選ぶ。
- 2 確認画面が表示されたら、[はい]を選択する。
画面にmicroSDカードの画像が表示され、ウォークマンは[SDカード挿入／取りはずし]モードになります。再生中の音楽が停止します。
- 3 microSDカードスロットの蓋を開ける。

4 [SDカード挿入／取りはずし]モードになっている間に、アクセスランプが消えていることを確認してから、microSDカードを一度奥に押す。手前に出てきたら、microSDカードスロットから取り出す。



5 microSDカードスロットの蓋を閉める。

6 BACK／HOMEボタンを押して、[SDカード挿入／取りはずし]モードを終了する。

ウォークマンのデータベースが更新されます。

ご注意

- 手順6の後、再度同じmicroSDカードを正しい手順で挿入した場合でも、ウォークマンで設定していたおまかせチャンネルの解析情報やブックマークなどのうち、microSDカードに保存されていたコンテンツの情報は削除されます。再度設定し直してください。

microSDカードを初期化(フォーマット)する

下記の手順に従って必ずウォークマン上で行ってください。初期化するとmicroSDカードに記録されたデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1 ホームメニュー → (SDカード設定) → [SDカード初期化] → [はい] → [はい]の順に選ぶ。

最後の[はい]を選ぶと、microSDカード内のすべてのデータが消去されます。初期化が終了すると[メモリーの初期化が完了しました。]と表示されます。

ご注意

- ウォークマンで最初にmicroSDカードをお使いになるときは、必ずウォークマン上でmicroSDカードを初期化してください。

保存するメモリーを切り替える

保存するメモリーを、ウォークマンの本体メモリーとmicroSDカードから選ぶことができます。

1 ホームメニュー →  (SDカード設定) → [使用メモリー選択] を選ぶ。

2 下記のいずれかを選ぶ。

- パソコンから転送する場合
[USB接続先メモリー選択] を選ぶ。
- オーディオ機器などから録音する場合
[録音先メモリー選択] を選ぶ。
- Bluetooth機器からファイルを受信する場合
[ファイル受信先メモリー選択] を選ぶ。

3 保存するメモリーを [本体メモリー] または [SDカード] から選ぶ。

ご注意

- ウォークマン上で、本体メモリーとmicroSDカード間でのデータ転送はできません。

日付と時刻を設定する

お使いになる前に、現在の日付と時刻を設定してください。ホームメニューについては⑨29ページをご覧ください。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [共通設定] → [時計設定] → [日付時刻設定] を選ぶ。
- 2 ◀/▶ボタンで年、月、日、時、分を選び、▲/▼ボタンで数字を選ぶ。
- 3 ►||ボタンを押して決定する。

ご注意

- ウォークマンの内蔵時計は1か月で最大60秒の誤差が生じる場合があります。

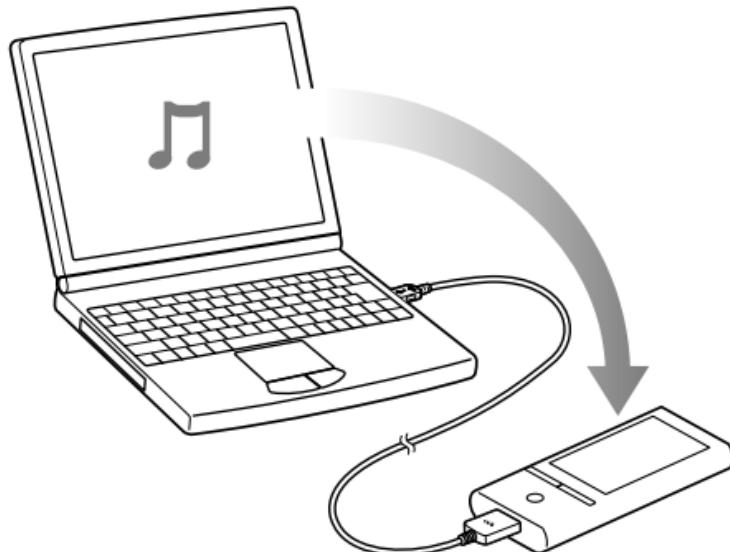
パソコンを使って音楽を取り込む

パソコンを使ってウォークマンに音楽コンテンツを取り込むには、インターネット上に公開されている最新のソフトウェアを使うと便利です。

詳しくは別紙「パソコンから転送して音楽を楽しむ」または「ヘルプガイド」、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ご注意

- 著作権保護された音楽コンテンツを microSDカードに転送することはできません。



ヘッドホンを選択する

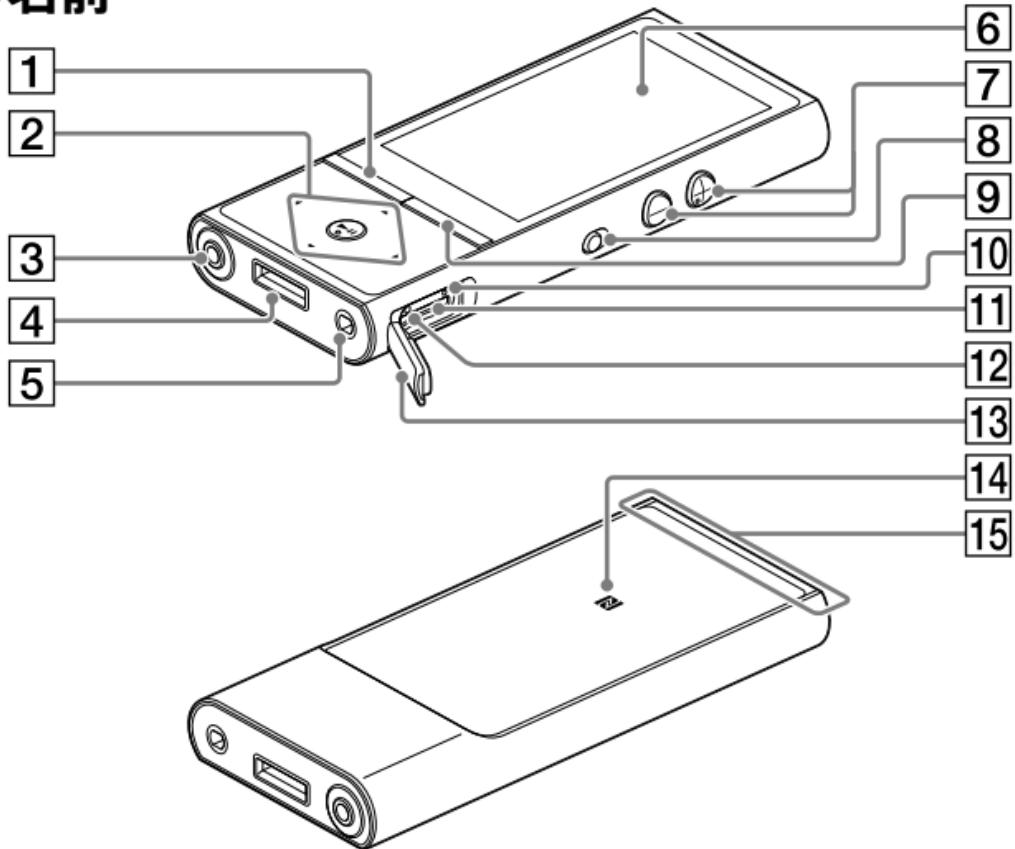
対象のヘッドホンを選択することにより、最適なノイズキャンセリング効果を得られるよう自動調整したり、“Clear Phase”機能がヘッドホンに合わせた音楽特性を最適な状態にします。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [ヘッドホン選択] → ヘッドホンの種類を選ぶ。
- 2 [Clear Phase™] で [オン] または [オフ] を選ぶ。

ヒント

- [その他のヘッドホン]を選択した場合、“Clear Phase”的設定とノイズキャンセリング機能は有効になりません。

各部の名前



1 BACK/HOMEボタン

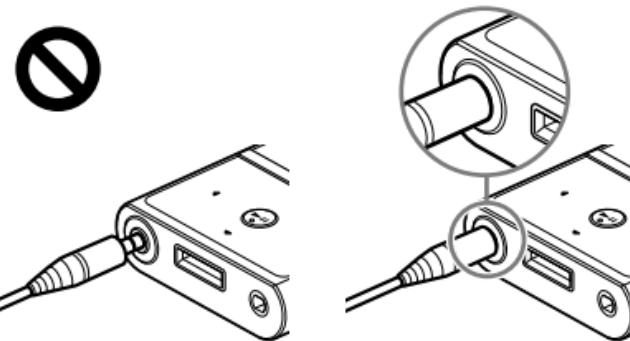
リスト画面の階層を上がったり、前の画面に戻ったりできます。押したまま(長押し)にすると、ホームメニューが表示されます(☞ 30 ページ)。

2 5方向ボタン*1

中央の▶■ボタンで再生を始めたり、▲/▼/◀/▶マークを押すことで項目を選んだりできます(☞ 30 ページ)。

3 ヘッドホンジャック

ヘッドホン(別売)を接続します。奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。ヘッドホンが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。



ご注意

- Bluetooth接続中は、ヘッドホンジャックにヘッドホンを接続しても音は出ません。Bluetooth接続を切断してください(☞ 56 ページ)。

4 ダブリューエムポート WM-PORTジャック

同梱のUSBケーブルや、別売のWM-PORT対応のアクセサリーを接続できます。
使用しないときは、同梱のWM-PORTキャップを差し込んで、水やほこりが入らないようにしてください。



5 ストラップ取り付け口

ストラップ(別売)を取り付けます。

6 画面

7 ボリューム VOL+*1/-ボタン

音量を調節します。

8 ホールド HOLDスイッチ

誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。
HOLDスイッチを矢印の方向➡にスライドするとHOLD(ホールド)状態になり、操作ボタンが働かなくなります。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると解除されます(☞ 27 ページ)。

9 オプション パワー オフ OPTION/PWR OFFボタン

オプションメニューを表示します。長押しすると画面表示が消え、再生待機状態になります。

10 アクセスランプ (スロット蓋の中にあります。)

11 microSDカードスロット (スロット蓋の中にあります。)

12 リスタート RESTARTボタン (スロット蓋の中にあります。)

ペンやクリップなどでRESTARTボタンを押すと、
ウォークマンを再起動できます。

13 スロット蓋

14 Nマーク

NFC機能があるBluetoothオーディオ機器をここにタッチして接続します。

15 内蔵Bluetoothアンテナ

ご注意

- Bluetooth接続中は手などでおおわないようにしてください。Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。

*¹ ボタンには、凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。(5方向ボタンには、▶▶ボタンに突起がついています。)

HOLD(ホールド)を解除する

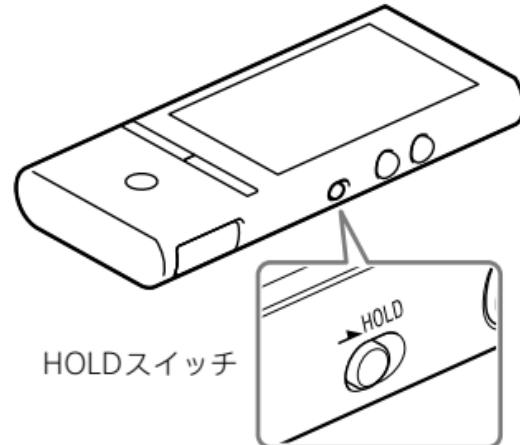
ボタン操作をするときは、HOLDスイッチを矢印(→)と反対の方向にスライドさせ、HOLD(ホールド)を解除します。

ヒント

- HOLD(ホールド)状態のときにボタンを押すと、画面上部に[HOLD]が点滅します。



アイコン表示



HOLDスイッチ

電源を入れる／切る

電源を入れる

- ① ウォークマンのいずれかのボタンを押す。

電源を切る

- ① OPTION／PWR OFFボタンを長押しする。
[POWER OFF]画面が表示されたあと、再生待機状態になります。

ヒント

- ウォークマンは、一時停止中に一定時間操作がないと、自動的に再生待機状態になります。このときいずれかのボタンを押すと、画面が表示されます。
- 再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。その後電源を入れるときには、起動に少し時間がかかります。

ご注意

- 再生待機状態でもわずかに電池を消耗します。

ホームメニューについて

ウォークマンでは、ホームメニューが各機能の入り口になります。ここから曲を探したり、各機能を選んだり、設定を変更することができるほか、簡単に音楽を再生することもできます。

情報表示エリア
(☞ 31 ページ)

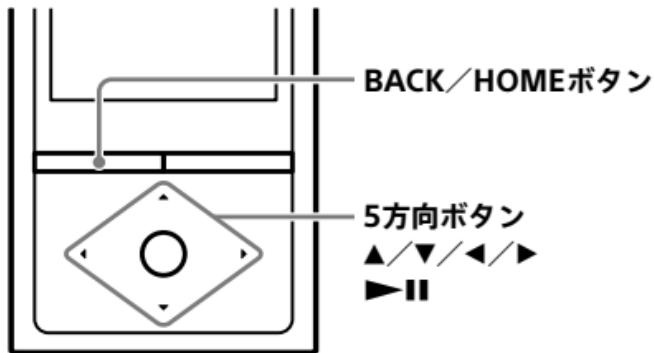


簡易再生画面

- ▲ボタンで簡易再生画面に切り替わります。
- ▶/■: 曲の再生や一時停止
- ◀/▶: 曲戻しや曲送り、長押しで早戻しや早送り
- ▼ボタンでメニューアイコンに戻ります。

メニューアイコン
(☞ 32 ページ)

ホームメニューから各機能または項目を選ぶ



- ① BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューを表示する。
- ② ◀/▶ボタンを押して機能を選び、▶■ボタンを押して決定する。
- ③ ▲/▼/◀/▶ボタンを押して機能または項目を選び、▶■ボタンを押して決定する。

情報表示エリアに表示されるアイコン

▶、⏸、▶▶、

◀◀、▶▶⏸、 再生の状態

◀◀など

 HOLD (ホールド) 中 (☞ 27 ページ)

 ノイズキャンセリング機能の状態 (☞ 48 ページ)

 電池残量 (☞ 11 ページ)

 アラーム

 スリープタイマー

 Bluetooth接続の状態

メニューアイコン

 (Bluetooth)	(☞ 52 ページ)
 (ノイズキャンセル)	(☞ 48 ページ)
 (SDカード設定)	(☞ 19 ページ)
 (各種設定)	(☞ ヘルプガイド)
 (ミュージック)	(☞ 33 ページ)
 (再生画面へ)	音楽再生画面を表示します。
 (おまかせチャンネル)	(☞ ヘルプガイド)
 (録音)	(☞ 43 ページ)

ヒント

- ヘルプガイドについては、☞ 88 ページをご覧ください。

音楽を再生する

ホームメニューから  (ミュージック) を選ぶと、曲を再生できます。



1 ホームメニュー  (ミュージック) を選ぶ。

2 希望の検索方法  希望の曲を選ぶ。

再生が始まります。一時停止するには   ボタンを再度押してください。   ボタンを押すと前後の曲や再生中の曲の頭出しをします。長押しすると早戻しや早送りをします。

ヒント

- 簡易再生画面から音楽を再生することもできます。 (☞ 29 ページ)

音楽設定を変更する

音質を1回の操作で簡単に設定する

ClearAudio+™機能を使用すると、デジタル信号処理技術の効果を楽しむことができます。

- ① 音楽再生画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ② [ClearAudio+]→[オン]を選ぶ。

好みの音に設定する

ClearAudio+機能を使わずに、機能ごとに設定を変えることもできます。

- ① 音楽再生画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ② [各種音質設定]→希望の機能を選ぶ。
- ③ それぞれの設定を決める。
[イコライザー]、[VPT(サラウンド)]、[クリアステレオ]の設定ができます。

ハイレゾを楽しむ

ハイレゾ音源を楽しむ

ハイレゾ音源は、従来のCDを超える高音質で記録されている音源です。ハイレゾ音源のコンテンツはインターネット経由で購入します。購入方法の一例は、別紙「パソコンから転送して音楽を楽しむ」をご覧ください。

ハイレゾ音源をそのままの音質で楽しむには、ハイレゾ対応ヘッドホンが必要です。MDR-NW750N(別売)はハイレゾに対応しています。

圧縮音源でハイレゾ感を楽しむ

圧縮音源でもハイレゾ感を楽しむことができます。ウォークマンのDSEE HX機能を有効にすると、圧縮音源やCD品質の音源を、ハイレゾ相当の情報量を持つ高解像度音源にアップスケーリングします。

- ① ホームメニュー →  (各種設定) → [音楽設定] → [DSEE HX] → [オン] を選ぶ。

ご注意

- Bluetoothオーディオ機器から出力する場合は、DSEE HX機能は無効になります。

再生方法を変える(プレイモード)

曲を順不同に再生したり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

- 1 音楽再生画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- 2 [プレイモード]→希望の設定の種類を選ぶ。
選んだプレイモードで曲を再生することができます。

設定の種類(再生画面のアイコン)	説明
ノーマル(表示なし)	再生範囲の曲を順に再生します。
リピート(➡)	再生範囲の曲を順に繰り返し再生します。
シャッフル(➡)	再生範囲の曲を順不同に再生します。
シャッフルリピート(➡➡)	再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生します。
1曲リピート(➡1)	再生中または再生を始めた曲を繰り返し再生します。

再生範囲を変える

曲の再生範囲を設定できます。お買い上げ時の設定は[全範囲を再生]になっています。選択したアーティストやアルバムのみの曲を再生するには、[選択範囲内を再生]に設定を変更してください。

- 1 音楽再生画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- 2 [再生範囲設定]→希望の再生範囲の種類を選ぶ。

設定の種類(アイコン)	説明
全範囲を再生 (表示なし)	音楽再生で選んだ検索方法(全曲、アルバム、アーティストなど)の対象となる曲をすべて再生します。 ミュージックメニュー内のアルバムなどを順に再生したい場合はこちらを選択してください。
選択範囲内を再生 (■)	再生中の曲を含むフォルダー(アーティスト、アルバム、録音した曲など)の中の曲を再生します。

ご注意

- [再生範囲設定]で[全範囲を再生]と設定していても、[ブックマーク]から曲を選んだときは、選んだブックマーク内の曲のみ再生されます。

曲を削除する

曲の取り込み方法によって、削除の方法が異なります。

パソコンから転送した曲の場合

パソコンから転送した曲はウォークマンでは削除できません。削除の方法について詳しくは別紙「パソコンから転送して音楽を楽しむ」をご覧ください。

パソコンを使わず直接録音した曲の場合

- ① ホームメニュー →  (ミュージック) → [録音した曲] → [本体メモリー] または [SDカード]
→ 削除したい曲のあるフォルダーを選ぶ。
フォルダーごと削除したい場合はフォルダーを選ばずに手順②へ進みます。
- ② OPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ③ [曲を選択して削除] → 削除したい曲 → [はい] を選ぶ。
フォルダーごと削除したい場合は、[フォルダーを選択して削除] → 削除したいフォルダー
→ [はい] を選びます。

お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプル曲の場合

- ① ホームメニュー →  (ミュージック) → [受信した曲] → [本体メモリー] → 削除したいサンプル曲を選択し、再生する。
- ② OPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ③ [この曲を削除] → [はい] を選ぶ。

ヒント

- ホームメニュー →  (各種設定) → [Bluetooth設定] → [受信ファイル全削除] でサンプル曲をまとめて削除できます。ただし、Bluetooth通信で受信した曲も同時に削除されます。
- WindowsパソコンのMedia GoやエクスプローラーまたはMacパソコンのFinderなどを使用して削除することもできます。
エクスプローラーやFinderを使って削除する場合は、[WALKMAN] → [RECEIVED] フォルダーを選択し、不要なサンプル曲を削除してください。

ご注意

- 一度削除したサンプル曲は元に戻せません。また、新たにサンプル曲の提供はいたしませんのでご了承ください。削除する前に必要なサンプル曲をMedia Goで取り込むなど、パソコン内に保存してください。

ブックマークを使う

お気に入りの曲だけを再生したり、好きな曲順で曲を再生したりするときはブックマークを使います。ブックマークは1から5まであります。

ブックマークに曲を登録する

- ① 音楽再生画面で、▶■ボタンを長押します。
ブックマーク1(基本登録先)に登録されます。

ヒント

- 1つのブックマークにつき100曲まで登録できます。
- 基本登録先は、ブックマーク1から別のブックマークに変更することができます。
- 基本登録先以外のブックマークに曲を登録する場合は、音楽再生画面または一覧画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示し、[ブックマークに登録]→希望のブックマークを選んでください。

ブックマークした曲を再生する

- ① ホームメニュー→□(ミュージック)→[ブックマーク]→希望のブックマーク→希望の曲を選択。

ブックマークから曲を解除する

- ① ホームメニュー →  (ミュージック) → [ブックマーク] → 対象のブックマーク → 解除したい曲を選ぶ。
- ② OPTION／PWR OFFボタンを押して、オプションメニューから [ブックマークから解除] を選ぶ。

ご注意

- microSDカードを抜くと、miscoSDカードに保存されている曲のブックマーク登録情報は解除されます。もう一度登録し直してください。

プレイリストの曲を再生する

プレイリストとは、パソコン上のソフトウェアを使って作成した曲の再生リストのことです。アルバム単位やアーティスト単位ではなく、好きな曲を好きな順に再生することができます。

プレイリストをウォークマンで再生するには、インターネット上に公開されている最新のソフトウェアを使う必要があります。詳しくはMedia GoまたはContent Transferのヘルプをご覧ください。

- 1 ホームメニュー →  (ミュージック) → [プレイリスト] → 希望のプレイリスト
→ 希望の曲を選ぶ。

ヒント

- 本体メモリーとmicroSDカード内の曲を混在させたプレイリストは作成できません。

パソコンを使わずに音楽を録音する

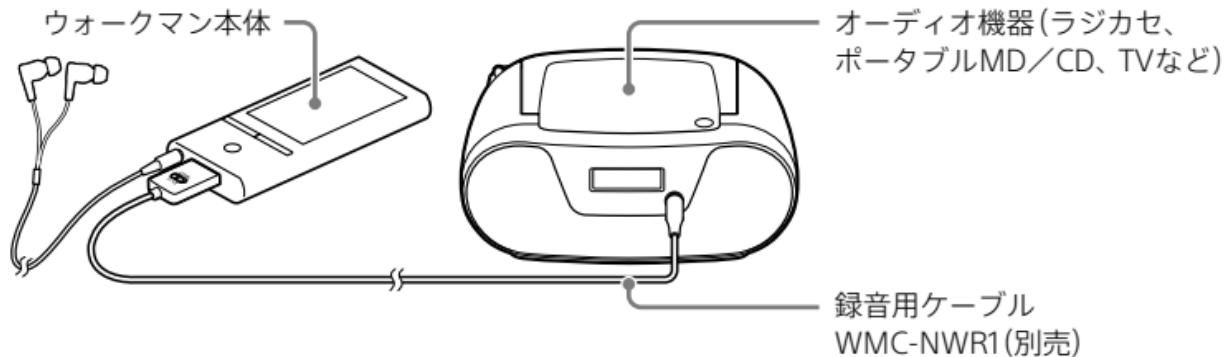
録音用ケーブルWMC-NWR1（別売）を使ってウォークマンとオーディオ機器を接続すると、パソコンを使わなくても、直接ラジカセなどから録音できます。

1 録音用ケーブルを接続する。

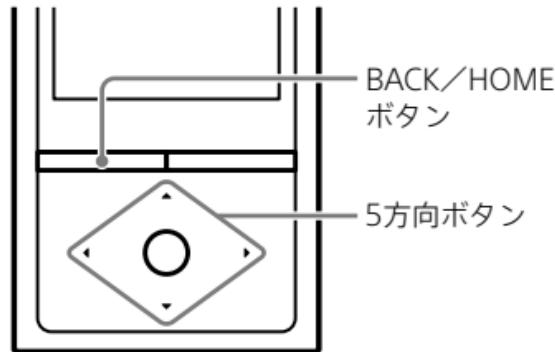
録音用ケーブル（別売）を使って、ウォークマンとオーディオ機器を接続します。

オーディオ機器にLINE OUT端子がある場合は、LINE OUT端子に差し込んでください。

2 ウォークマンにヘッドホン（別売）をつなぐ。



3 ホームメニュー → (録音) → [シンクロ録音] を選ぶ。



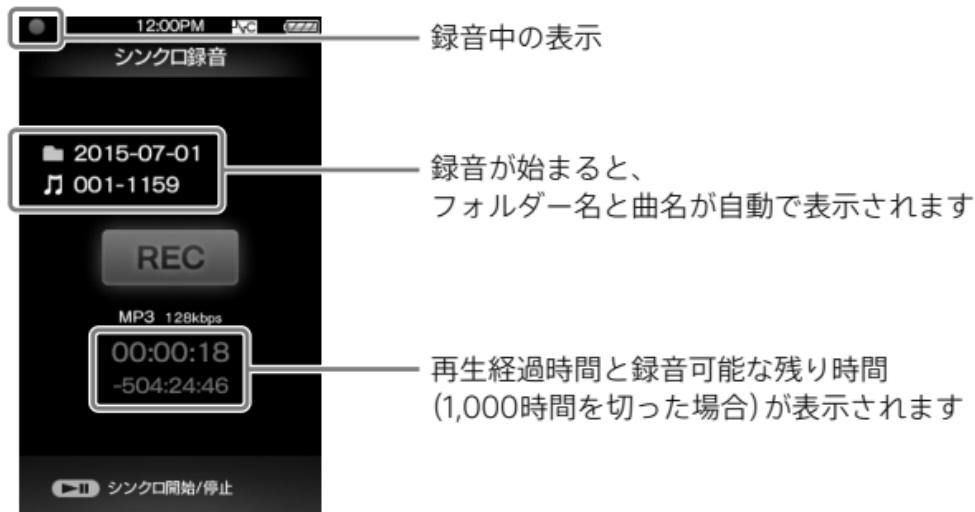
4 録音時の音量レベルを調整する。

ウォークマンを使って、録音される曲の音量レベルを事前に確認します。

- ① ウォークマンのVOL(ボリューム)+/-ボタンを押し、音量を「10」にする。
- ② オーディオ機器を再生する。
- ③ ウォークマンで音量を確認する。
- ④ オーディオ機器の音量を、音がひずまない程度に大きめに調整する。
- ⑤ 調整が終わったらオーディオ機器の再生を停止し、録音開始点に戻す。

5 ウォークマンの▶■ボタンを押し、録音待機状態にする。
画面のRECアイコンが赤く点灯します。

6 オーディオ機器の再生を始める。
ウォークマン側で音を検知すると自動的に録音が始まります。
自動で曲を分割しながら録音されます。



7 ウォークマンの▶■ボタンを押し、録音を停止する。

8 録音した曲を再生する

① ウォークマンから録音用ケーブルを外す。

② ホームメニュー → (ミュージック)を選択。

③ [録音した曲] → [本体メモリー] または [SDカード] → 希望の録音フォルダー → 希望の曲を選択。

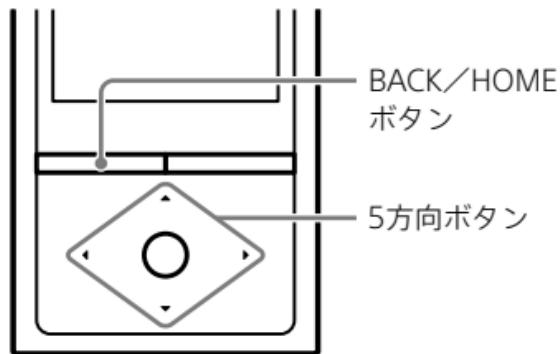
ヒント

- 録音停止までの間に録音した曲は、ひとつのフォルダーに格納されます。次にシンクロ録音を始めるとき、新規フォルダーに格納されます。
- 録音した曲の保存場所は、本体メモリーのほかにmicroSDカードを選択できます。 (☞ 19 ページ)
- 録音時のフォーマットを変更できます。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
- フォルダ名や曲名は以下のとおりに記録されます。
 - フォルダ名:yyyy-mm-dd(録音時の年-月-日)
 - 曲名:nnn-hhmm(同じフォルダー内の通し番号-録音開始時分)
- 曲名やアルバム名、アーティスト名を編集したい場合は、WindowsパソコンにインストールしたMedia Goなどでパソコンに取り込んで編集してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

- 手順3で[マニュアル録音]を選ぶと、▶■ボタンで録音の開始と停止を手動で指定して録音することもできます。
- 録音した曲を削除できます(☞38ページ)

周囲の騒音を低減させて聞く

ウォークマンのノイズキャンセリング機能を有効にすると、周囲の騒音を低減することができます。ノイズキャンセリング機能を使うには、ノイズキャンセリング機能対応のヘッドホンが必要です。本製品に対応しているノイズキャンセリング機能対応のヘッドホンは、MDR-NW750N(別売)／MDR-NWNC33(別売)です。



- 1 使用するヘッドホンの種類を選ぶ。 (☞ 22 ページ)

2 対象のヘッドホンをウォークマンに接続し、ホームメニュー ➔ (ノイズキャンセル) ➔ [ノイズキャンセルオン／オフ] ➔ [オン] を選ぶ。
情報表示エリアに  が表示されます。

ヒント

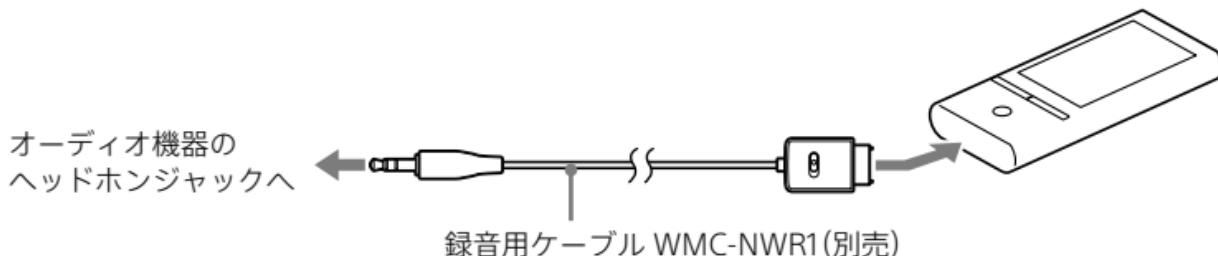
- バスや電車で音楽などを聞いていると、音が途切れる(音飛びする)ことがあります。仕組み上発生するもので、不具合ではありません。この現象は、[ノイズキャンセル調整]の値を小さくすることで改善されます。[ノイズキャンセル調整]の値を小さくしてご使用ください。

ご注意

- 対象のノイズキャンセリング機能対応ヘッドホン以外を使っているときには[ノイズキャンセルオン／オフ]を[オン]にしても、ノイズキャンセリング機能は働きません。その場合、情報表示エリアに表示されるノイズキャンセリングアイコンが暗くなります().
- ノイズキャンセリング機能が有効なときは、かすかにサーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、[ノイズキャンセルオン／オフ]を[オフ]にしてください。

他のプレーヤーの音を聞く(外部入力)

飛行機内のオーディオ機器などの音声をノイズキャンセリング機能を使って聞くことができます。録音用ケーブル WMC-NWR1(別売)を使います。



- ① 使用するヘッドホンの種類を選ぶ。(☞ 22 ページ)
- ② 対象のヘッドホンをウォークマンに接続し、ホームメニュー ➔ (ノイズキャンセル) ➔ [ノイズキャンセルオン／オフ] ➔ [オン] を選ぶ。
- ③ 録音用ケーブル WMC-NWR1(別売)をウォークマンのWM-PORTジャックに接続し、オーディオ機器のヘッドホンジャックに接続する。
- ④ ホームメニュー ➔ (ノイズキャンセル) ➔ [外部入力／サイレント] を選ぶ。
オーディオ機器からの音声にノイズキャンセリング効果が適用されます。

騒音を低減して静かな環境を作る(サイレント)

音楽コンテンツを再生しないときでも、対象のヘッドホンのノイズキャンセリング効果を利用して、周囲の騒音を低減することができます。

- ❶ 使用するヘッドホンの種類を選ぶ。(☞ 22 ページ)
- ❷ 対象のヘッドホンをウォークマンに接続し、ホームメニュー ➔ (ノイズキャンセル) ➔ [ノイズキャンセルオン／オフ] ➔ [オン] を選ぶ。
- ❸ ホームメニュー ➔ (ノイズキャンセル) ➔ [外部入力／サイレント] を選ぶ。
周囲の騒音が低減されます。

ヒント

- 録音用ケーブル(別売)を接続すると、[サイレント]から[外部入力]に自動的に切り替わります。

Bluetoothオーディオ機器で音声を聞く

Bluetoothオーディオ機器とウォークマンを接続し、ウォークマンの音声をワイヤレスで聞くことができます。

- 1 初回接続時は、ウォークマンと相手側Bluetoothオーディオ機器をペアリングする(☞ 53 ページ)。
- 2 ウォークマンと相手側Bluetoothオーディオ機器をBluetooth接続する(☞ 55 ページの手順① ~ ③)。
- 3 ウォークマンの音声を再生する(☞ 55 ページの手順④)。

Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。

ウォークマンはBluetoothプロファイル*として、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)とAVRCP(Audio／Video Remote Control Profile)に対応しています。

接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応している必要があります。

AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからウォークマンの基本操作を行うことができます。

* Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

機器登録(ペアリング)する

Bluetooth機器同士をはじめてワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。



- ① 相手側のBluetoothオーディオ機器とウォークマンを1m以内に置く。
- ② 相手側のBluetoothオーディオ機器をペアリングモードにする。

③ ホームメニュー →  (Bluetooth) → [機器登録(ペアリング)] を選ぶ。

ペアリング可能なBluetoothオーディオ機器の検索が始まり、該当する機器の機種名が表示されます。

④ ペアリングしたい相手側のBluetoothオーディオ機器を選ぶ。

⑤ ペアリングが完了し、自動的にBluetooth接続されていることを確認する。

接続完了のメッセージが表示されます。ウォークマンで再生を始めると、相手側のBluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。 (☞ 55 ページ)

ご注意

- ペアリングの接続処理中にパスキー*の入力画面が表示されたら、相手側のBluetoothオーディオ機器のパスキーを確認し、入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。ウォークマンのパスキーは[0000]です。Bluetoothオーディオ機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 一度にペアリングできるのはひとつのBluetoothオーディオ機器のみです。複数の機器をペアリングするには、それぞれの機器を手順①から行ってください。

- 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレスを確認してください。BDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続したいBluetoothオーディオ機器にNFC機能が搭載されている場合は、ウォークマンのNマーク部分を、Bluetoothオーディオ機器のNマーク部分にタッチすると、ペアリングとBluetooth接続が行われます。（☞ 57 ページ）

Bluetooth接続で音楽を再生する

ペアリングが済んでいるBluetoothオーディオ機器でも毎回Bluetooth接続が必要です。ペアリング直後はBluetooth接続された状態になりますので、手順④から始めてください。

- 接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、接続待ち状態にする。
詳しくは相手側のBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ホームメニュー →  (Bluetooth) → [オーディオ機器接続] を選ぶ。
- 希望のBluetoothオーディオ機器を選ぶ。
Bluetooth接続すると、接続した機器のアイコンに  が表示されます。
- ウォークマンで曲を再生する。
曲を聞き終わったら、ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の両方の電源を切ります。

ヒント

- ウォークマンで設定した音質設定や音響効果を有効にできます。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

Bluetooth接続を切断する

- ① ホームメニュー →  (Bluetooth) → [オーディオ機器切断] を選ぶ。

Bluetoothヘッドホンとヘッドホンを切り替えるには

Bluetooth接続中は、ヘッドホン(ヘッドホン端子に接続するタイプのヘッドホン)から音は出ません。ヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切ってください。

- ① ホームメニュー →  (Bluetooth) → [オーディオ機器切断] を選ぶ。

ワンタッチ(NFC)で接続する

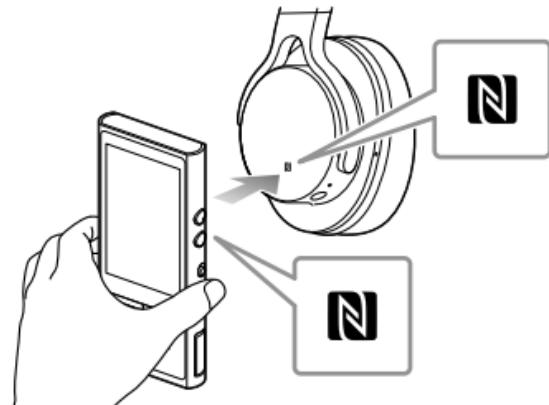
接続したいNFC機能搭載Bluetoothオーディオ機器にウォークマンをタッチすると、ペアリングとBluetooth接続が行われます。

1 Bluetoothオーディオ機器にNFCスイッチがある場合は、NFCスイッチを「ON」にする。

2 ウォークマンをBluetoothオーディオ機器にタッチする。

ウォークマンのNマーク部分を、Bluetoothオーディオ機器のNマーク部分にタッチします。

ウォークマンの画面に指示が出るまでタッチし続けてください。



3 画面の指示に従って接続を完了する。

ヒント

- 接続を解除するには、もう一度タッチします。
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - ウォークマンをBluetoothオーディオ機器のNマーク部分の上でゆっくり動かす。
 - ウォークマンにケースを付けている場合は、ケースを外す。

ご注意

- ウォークマンがHOLD(ホールド)状態の時は接続できません。HOLD(ホールド)を解除してからタッチして接続してください(☞ 27 ページ)。
- 画面表示が消えて再生待機状態になっているときは接続できません。画面を表示させてからタッチして接続してください(☞ 28 ページ)。
- オーディオ機器などからの録音中は接続できません。録音が終了してからタッチして接続してください。

Bluetooth接続の使用上のご注意

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- ウォークマンにはアンテナが搭載されています。アンテナ部分の方向を接続したBluetoothオーディオ機器に向けることで、Bluetooth接続の感度が良くなります。ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の間に障害物などがあった場合、接続有効範囲は変わります。
- 以下の場合は、Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。このような場合、音が途切れたりファイルの送受信に失敗することがありますが故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
 - 金属製のかばんの中で使う場合
 - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
 - 無線LANが構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など
- Bluetoothオーディオ機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10 m以上離れたところで行う。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器をできるだけ近づける。
 - 無線LANを搭載した機器から10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声に比べて、受信側のBluetoothオーディオ機器での再生がわずかに遅れます。
- Bluetoothオーディオ機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではウォークマンおよびBluetoothオーディオ機器の電源を切ってください。
病院内／電車内の優先席付近／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く
- ウォークマンは、Bluetooth技術を使用した接続時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した接続を行なう際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した接続時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ウォークマンはすべてのBluetoothオーディオ機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetoothオーディオ機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるようになるまで時間がかかることがあります。

安全のために



火災

破裂

下記の注意事項を守らないと、**火災・感電・破裂**などにより**死亡や大けが**などの人身事故が生じます。

火の中に入れない。



禁止

温度が非常に高いところで充電したり、放置しない。



禁止

- 火のそば
- 暖房器具の近く
- 炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)など

本製品の各端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。



本製品の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**など人身事故の原因となります。

充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本製品内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけの症状があるときには医師に相談してください。

運転中は使用しない。



禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見るることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。



周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。



禁止

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。そのような場所では使用しないでください。事故やけの原因となります。

内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、本製品に接続しているものをはずし、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



雨、水がかかる場所、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない。

上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。



分解や改造をしない。

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービスステーションにご依頼ください。



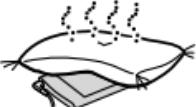
乳幼児の手の届かないところに置く。

イヤーピースなど小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。



本製品を布団などでお
おった状態で使用しない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



雷が鳴り出したら、本体
やUSBケーブルに触れない。

感電の原因となることがあります。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の
家財に損害を与えたり
することがあります。



大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えるおそれがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音がでて、耳をいためことがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。ボリュームは徐々に上げましょう。

肌に合わないと感じたときは使用しない。

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。

使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止



注意



指示

本製品を医療機器の近くで使用しない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。



禁止

本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



注意

本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品に強い衝撃を与えない。



禁止

本製品には強い衝撃や過度の力を与えないでください。モデルによっては、画面表示部にガラス素材を採用しています。欠けや割れが発生するだけがの原因になります。その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。

不安定な場所に置かない。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。



本製品は、国内専用です。



指示

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

使用上のご注意

無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4 F H 3
: : :

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は30 mです。

充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。

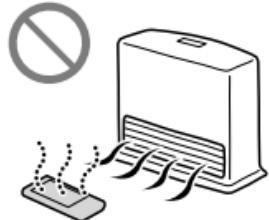
本製品の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本製品の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。

- 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ

変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。

- ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)



- ホコリの多いところ
- ぐらついた台の上や傾いたところ

- 振動の多いところ

- 風呂場など、湿気の多いところ

- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く

- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本製品の電源を切って、本製品をラジオやテレビから離してください。

- 本製品をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- 本製品をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



- 本製品にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中にに入れ、外から大きな力を加えない。



- 水がかからないようご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 洗面所などでポケットに入れての使用
身体をかがめたとき
などに落として水濡れの原因となる場合があります。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
 - 汗をかく状況での使用
濡れた手で触ったり、汗をかいだ衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。
- ヘッドホンを本製品から外すときは、ヘッドホンのプラグを持って外してください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。
- ヘッドホンを付けたまま寝ないでください。寝ているあいだにヘッドホンのコードが首にからまり、窒息の原因となることがあります。



ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こないと危険な場所では使わないでください。
- ストラップ(別売)を付けてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもありますので、ご注意ください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 耳に差し込むタイプのヘッドホンは、イヤーピース部分の密閉度が高いため、イヤーピースが耳に強く押しこまれたり、急に外れたりすると、鼓膜などを傷めるおそれがあります。使用後は、イヤーピース部分を上下に動かして、ゆっくり取り外してください。

- 本製品を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本製品の表面や内部に結露が生じことがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
- 本製品をUSB接続したまま、パソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本製品が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本製品を取り外してから行ってください。
- Media Goの使用中(CD録音中、曲の取り込み中、本製品への転送処理中)にパソコンがスリープ／スタンバイ／休止状態へ移行すると、データが失われたり、Media Goが正常に復帰しない場合がありますのでご注意ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これは本製品の故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります、異常ではありません。

本製品の保管について

ウォークマンには、リチウムイオン充電池が内蔵されています。長期間保管するときは、次の事項に注意してください。

- 充電池の劣化は、満充電で保管すると激しくなり、保存温度が高いほど早く進みます。
(たとえば、シガーソケットに接続したまま自動車内に放置するなど)
できるだけ35°C以下のすずしい場所に保管してください。また、充電容量を50%前後にして保管することをおすすめします。
- 電池は使い切った状態で保管しても劣化します。劣化を防止するために、半年から1年に1回の割合で、50%程度の充電をしてください。



microSDカードのご使用について

- 初期化は必ずウォークマンで行ってください。パソコンなどウォークマン以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、ウォークマンでの動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- microSDカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 転送／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- アクセスランプが点滅している間はmicroSDカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。

- 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。

読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したり、ウォークマンの電源を切った場合

静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。

- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所ではお使いにならないでください。
使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- お使いの際は正しい挿入方向をご確認ください。
- microSDカードスロットの挿入口にはmicroSDカード以外のものは挿入しないでください。
- ラベルなどを貼らないでください。
microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。

本製品を廃棄するときのご注意



Li-ion

本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。
(「ソニーの相談窓口」の連絡先は「お問い合わせ窓口のご案内」に記載されています。)

お手入れ

本製品表面の汚れは

- 柔らかい布(市販のめがね拭きなど)で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常により音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

同梱のソフトウェアについてのご注意

- 権利者の許諾を得ることなく、本製品同梱のソフトウェアの内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 同梱のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 同梱のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 同梱のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 本製品のメモリーを初期化すると、本製品に転送した曲のデータだけでなく、お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータおよびソフトウェアのすべてが消去されます。メモリー初期化を行う前に内容を確認し、必要なデータはパソコンに保存してください。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽(歌詞ピタ(データ)含む)データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

主な仕様

再生できるファイルの種類

ミュージック		
オーディオ フォーマット	MP3 WMA ^{*1} ATRAC ^{*2} ATRAC Advanced Lossless ^{*2*3} FLAC リニアPCM AAC ^{*1*2} HE-AAC ^{*2} Apple Lossless AIFF DSD (DSF、DSDIFF フォーマット対応) ^{*4}	拡張子:.mp3 拡張子:.wma 拡張子:.oma 拡張子:.oma 拡張子:.flac 拡張子:.wav 拡張子:.mp4、.m4a、.3gp 拡張子:.mp4、.m4a、.3gp 拡張子:.m4a 拡張子:.aif、.aiff、.afc、.aifc 拡張子:.dsf、.dff

ご注意

- 4 GB以上のファイルは再生することができません。

*¹著作権保護されたファイルは再生できません。

*²著作権保護されたファイルはmicroSDカードには転送できません。

*³ATRAC Advanced Losslessのビットレート表記は、ATRAC対応機器・メディアに高速転送可能なコンテンツのビットレートを意味します。

*⁴リニアPCMへの変換再生になります。

記録できる最大曲数と時間の目安について

本製品に曲のみを転送した場合で計算しています。(1曲4分換算)

	最大記録曲数	最大記録時間
MP3 128 kbps	約20,000曲	約1,333時間20分
AAC 256 kbps	約15,700曲	約1,046時間40分
FLAC 44.1 kHz/16 bit	約2,860曲	約190時間40分
FLAC 192 kHz/24 bit	約430曲	約28時間40分
DSD 2.8224 MHz/1 bit	約710曲	約47時間20分
DSD 5.6448 MHz/1 bit	約350曲	約23時間20分

本製品では、本体メモリーとmicroSDカードに合計20,000曲を転送し、正常に動作することを確認しています。

ディスプレイ

サイズ／解像度:3.0型(7.6 cm)、WQVGA(400×240ドット)

パネル種類:TFTカラー液晶

インターフェース

USB:Hi-speed USB(USB 2.0準拠)

ヘッドホン:ステレオミニ

WM-PORT:マルチ接続端子22ピン

外部メモリー^{*1}

microSD

microSDHC

microSDXC

^{*1} 最新の動作確認済microSDカードについては、サポートホームページでご確認ください。

Bluetooth

- 通信方式:Bluetooth標準規格 Ver 3.0
- 使用周波数帯域:2.4 GHz帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)
- 変調方式:FHSS
- 対応Bluetoothプロファイル^{*1}
 - A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)
 - OPP(Object Push Profile)
- 対応コーデック^{*2}:SBC^{*3}、aptX、LDAC

^{*1} Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。お使いのウォークマンが対応するBluetoothプロファイルのバージョンを確認するには、ホームメニュー ➔ (各種設定) ➔ [Bluetooth設定] ➔ [Bluetooth情報]を選んでください。

^{*2} 音声圧縮変換のこと

^{*3} Subband Codecの略

ノイズキャンセリング

デジタルノイズキャンセリング

環境選択: フルオートAINC／電車・バス／航空機
／室内

電源

内蔵リチウムイオン充電式電池使用

USB電源(同梱のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給)

充電時間

パソコンのUSBコネクタから充電の場合

約5時間(満充電)、約3.5時間(約80%まで充電)

動作温度

5 °C～35 °C

外形寸法

最大突起部含まない寸法(幅／高さ／奥行き):

約53.8 mm × 約119.5 mm × 約14.8 mm

最大外形寸法(幅／高さ／奥行き):

約54.4 mm × 約120.1 mm × 約15.4 mm

質量

約145 g

容量

128 GB

電池持続時間について

持続時間は初期設定状態で連続再生をしたときの目安です。

ミュージック	ノイズキャンセリング機能オン	ノイズキャンセリング機能オフ
MP3 128 kbps	約60時間	約70時間
AAC 256 kbps	約55時間	約65時間
FLAC 96 kHz/24 bit	約50時間	約55時間
FLAC 192 kHz/24 bit	約40時間	約45時間
DSD 2.8224 MHz/1 bit	約29時間	約31時間
DSD 5.6448 MHz/1 bit	約24時間	約26時間
ダイレクト録音		
MP3 128 kbps	約23時間	
Bluetooth	SBC(接続優先)	LDAC(標準)
MP3 128 kbps	約45時間	—
FLAC 96 kHz/24 bit	—	約28時間

ご注意

- 再生待機状態でもわずかながら電池を消耗しているため、再生待機状態が長時間あった場合には持続時間は短くなります。
- 音量や使用状況、周囲の温度によっても持続時間は異なります。
- 「輝度設定」を「5」に設定している場合、「3」の場合と比較して、約40%持続時間が短くなります。
- 音響に関する設定を1つ以上有効にしている場合、すべて「オフ」の場合と比較して、約50%持続時間が短くなります。
- Bluetoothの持続時間は、コンテンツのフォーマットや接続機器の設定により40%～70%短くなります。

本製品の動作環境

- パソコン
Windows® Vista (Service Pack 2以降) / Windows® 7 (Service Pack 1以降) / Windows® 8 /
Windows® 8.1 / Windows® 10 / Mac OS® X v10.6以降
 - 標準インストールOSのみサポート
 - Windows VistaおよびWindows 7の「XP互換モード」には非対応
 - 推奨Media Goアプリケーションの利用には、Windowsパソコンにダウンロードのためのインターネット接続環境と400 MB以上のメモリー空き容量が必要
 - 推奨Content Transfer for Macアプリケーションの利用には、Macパソコンにダウンロードのためのインターネット接続環境と30 MB以上のメモリー空き容量が必要
- Internet Explorer Ver. 7以上
- インターネット接続環境
Gracenoteサービスや音楽配信サービスなどのWebサービスを利用する場合にインターネットへの接続が必要です。
- 自作パソコン、標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境、マルチブート環境での動作保障はいたしません。

上記システムリクワイヤメントに合致した場合においても、すべてのコンピュータに対して動作保証するものではありません。

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

ライセンスおよび商標について

- 商標権の帰属、法規などに関する情報は、ソフトウェアをインストールすると「重要なお知らせ」で確認できます。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本製品はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。

- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation.
Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

困ったときは

Q ウォークマンに水や汗などがかかって動作しなくなった。

- 電気回路がショートしないように電源が切れた状態のまま、水気がなくなるまで充分に自然乾燥してから電源を入れてください。復帰ができない場合はソニーの相談窓口にお問い合わせください(☞最終ページ)。

Q ウォークマンの電源が入らない。

- 長期間使用していないなどバッテリーが空の可能性があります。満充電になるまで充電をしてください(☞10ページ)。

Q パソコンに認識されない。

- バッテリーが空の可能性があります。10分以上充電してください(☞10ページ)。
- 接触不良の可能性があります。USBケーブルを抜き差ししてください。
- 上記でも解決しない場合は、パソコンの電源を完全に切ってからウォークマンを取り外し、パソコンの電源ケーブルやバッテリーなども外して、5分間放電してください。その後パソコンの電源を入れて起動し、ウォークマンを接続し直してください。

Q 画面が表示されているが動作しない。

- パソコンから一度に多量の音楽コンテンツを転送した場合は、データベースの更新に時間がかかります。数十分程度時間がかかる場合があります。
- 操作しても反応しない場合は、ボールペンの先などでRESTARTボタンを押して、ウォークマンを再起動してください。

Q 画面が表示されているがボタンの操作ができず、すぐに画面が消える。

- 誤操作防止のHOLDスイッチがHOLD(ホールド)状態になっている可能性があります。HOLDスイッチを矢印と逆の位置にスライドして解除してください(☞ 27 ページ)。

Q 電池がすぐになくなる。

- 充電が不十分の可能性があります。パソコンがスタンバイ(スリープ)、休止状態の場合は充電できません。起動した状態を維持して充電してください(☞ 10 ページ)。
- ウォークマンの設定によっては、電池消費が大きくなる場合があります(☞ 80 ページ)。
- 充電を繰り返すと電池の特性上劣化が発生します。使える時間がお買い上げ時の半分くらいになる充電可能な回数の目安は、約500回です。ソニーの相談窓口にお問い合わせください(☞ 最終ページ)。
- ウォークマンはACアダプター(AC-NWUM60など)(別売)を接続することで充電することもできます(☞ 11 ページ)。

Q が表示される。

- 電池の劣化、破裂を防止するための温度保護機能が働いています。5 °C～35 °Cの環境で充電してください(☞ 10 ページ)。

Q 曲が転送順に表示されない。

- 曲は転送順には表示されません。決まった曲順通りにしたい場合は、パソコンを使ってプレイリストを作成し、ウォークマンに転送するか、ウォークマンのブックマーク機能をお使いください。

Q 同じアルバム内に、同じ曲が2つ以上ずつ表示されている。

- 本体メモリーとmicroSDカードの両方に同じアルバムあるいは曲を転送している可能性があります。どちらかのアルバム、曲を削除してください(☞ 38 ページ)。

Q 再生したい曲が、本体メモリーとSDカードのどちらに入っているか確認したい。

- [ミュージック]▶[フォルダー]▶[本体メモリー]または[SDカード]を選択して確認してください。

Q ►■ボタンを押したが再生が止まらない。

- ボタンを長く押しすぎると、「ブックマークに登録しました」と表示される場合があります。►■ボタンを押す時間を短くしてください。

Q ウォークマンでmicroSDカードを認識しない。

- ウォークマンで認識できない形式でフォーマットされている可能性があります。microSDカード内のすべてのデータをパソコンにバックアップし、microSDカードをウォークマン上で初期化(フォーマット)してください(☞ 18 ページ)。

ウォークマンの本体メモリーを初期化(フォーマット)するには

下記の手順に従って必ずウォークマン上で行ってください。初期化すると記録されたデータ(お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータを含む)はすべて消去されますので、初期化する前に内容を確認してください。

ウォークマン本体メモリー内のソフトウェアやインストーラーも消去されますので、必要に応じてバックアップしてください。

1 ホームメニュー →  (各種設定) → [共通設定] → [各種初期化] → [本体メモリー初期化] → [はい] → [はい] の順に選ぶ。

最後の[はい]を選ぶと初期化が始まります。初期化が終了すると[メモリーの初期化が完了しました。]と表示されます。

使いかた(ヘルプガイド)とサポート情報を調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ウォークマンサポートのホームページ(<http://www.sony.jp/support/walkman/>)で以下の情報を得ることができます。



サポートホームページの主な情報

- 使いかた(ヘルプガイド)
本体、Media Go、Content Transfer for Macの使いかたなど
- 困ったときは(Q&A)
- 接続情報・対応表
- ダウンロード
Media Go、Content Transfer for Mac、本体ソフトウェアアップデートなど
- お問い合わせ
- 最新のお知らせ

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「困ったときは」(☞ 84 ページ)をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くの
ソニーサービスステーションにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

索引

【ア】

主な仕様	75
音楽再生	33
音楽設定	34

【カ】

各部の名前	23
曲を削除する	38
コンテンツ転送	21

【サ】

再生範囲	37
サポートホームページ	88
充電	10
使用メモリー選択	19
ストラップ取り付け口	25

【タ】

電源	28
電池残量	11
電池持続時間	80
同梱品	9

【ナ】

ノイズキャンセリング	48
------------	----

【ハ】

ハイレゾ	35
日付時刻設定	20
ブックマーク	40
プレイモード	36
プレイリスト	42
ペアリング	53
ヘッドホン選択	22
ホームメニュー	29
本体メモリーの初期化	87

【マ】

ミュージック 33

【ラ】

録音 43

【B】

Bluetooth 52

【C】

ClearAudio+ 34

“Clear Phase” 22

【D】

DSEE HX 35

【H】

HOLD(ホールド) 27

【M】

microSDカード 12

【N】

NFC 57



お問い合わせの前に

以下の方法ですぐに症状が解決されることがありますので、以下のチェックリストをお試しください。

- ウォークマンのRESTARTボタンを押しても、症状が改善しませんでしたか？
- ウォークマンを充電して、症状が改善しませんでしたか？
- パソコンでインターネットをお使いのお客様は、ウォークマンのサポートホームページをご覧になりましたか？

お問い合わせ窓口のご案内は、裏面をご覧ください。

次ページへ